



津田新会長挨拶

この度、日本豚病研究会会長に指名されました。長井副会長、恒光副会長および幹事の皆さんのご協力を得て、本研究会のさらなる発展のために努力して参ります。

この研究会は昭和57年に設立され、以来30年近くが経過しました。柏崎前会長には、平成15年より藤崎名誉会長の後を受けて、会長としてこの会の発展に長年にわたりご尽力いただきました。ここに厚くお礼を申し上げ、今後とも名誉顧問としてご指導をお願い申し上げる次第です。偉大な豚病研究者であるお二人の後を受けまことは、誠に光栄かつ身の引き締まる思いですが、豚病研究会設立以来の精神を受け継ぎつつ運営に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

豚病研究会は豚病研究に携わる方々の豚病に係る最新の診断技術、予防技術あるいは生産現場に直結した今日的话题を取り上げて、様々な情報収集を行う場を提供してきました。現在、会員は生産、臨床、資材、飼料、行政、研究など様々な分野の獣医師や畜産関係者で構成されており、会員数は約850名になります。研究会の発展はこれまでの現場重視の姿勢の賜物と考えておりますので、今後ともこうした姿勢を続けていくつもりです。また、この研究会は学際的な会であることを設立以来のモットーとしておりますので、豚病に直接あるいは間接的に関係がある学問分野の話題についても取り上げていきたいと考えておりますので、積極的な提案をお願いします。

近年、我が国を取り巻く環境は、口蹄疫などの疾病や飼料価格の高騰、輸入畜産物との競争などこれまでにない厳しい状況にあります。豚病研究の推進によって畜産衛生の向上に貢献する特徴ある研究会として活動、発展させていく所存ですので、会員の皆様の一層のご協力とご支援をお願いいたします。